

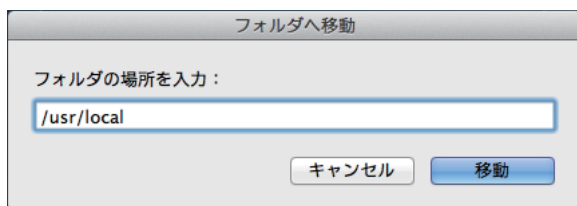
「OMUSUBI EPUBMAKER」 homebrew での ImageMagick パスの通し方

「homebrew で ImageMagick を入れている時に「OMUSUBI EPUBMAKER」が使えない」という話が先日出ましたので簡易説明ドキュメントを作りました。以下の手順で手動でパスを設定すれば OK です。

1 Finder の「移動」メニューから「フォルダへ移動」を選択

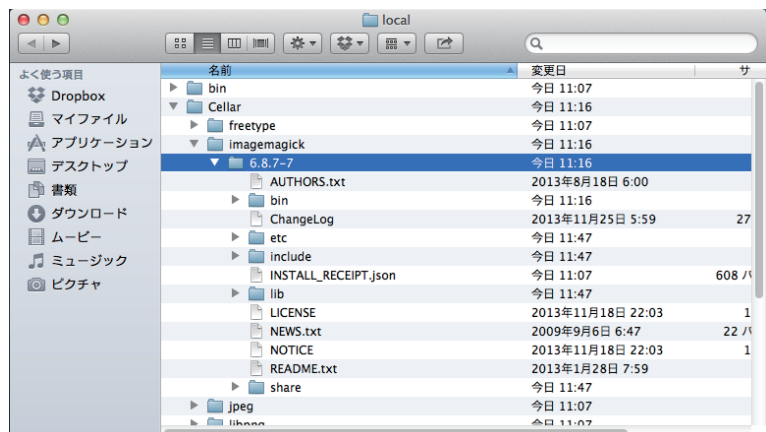


2 「/usr/local」と入力して移動する



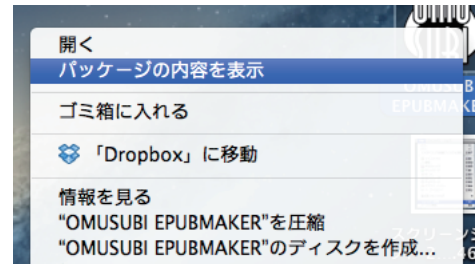
3 「Cellar」フォルダの下にある ImageMagick のパスを確認

「Cellar」フォルダの下にある ImageMagick のパスを確認する。homebrew ではパッケージバージョンごとに ImageMagick を管理しているので、パッケージバージョンまでのパスをメモ（bin フォルダあたりの情報を表示してパスをコピーが楽だと思います）。



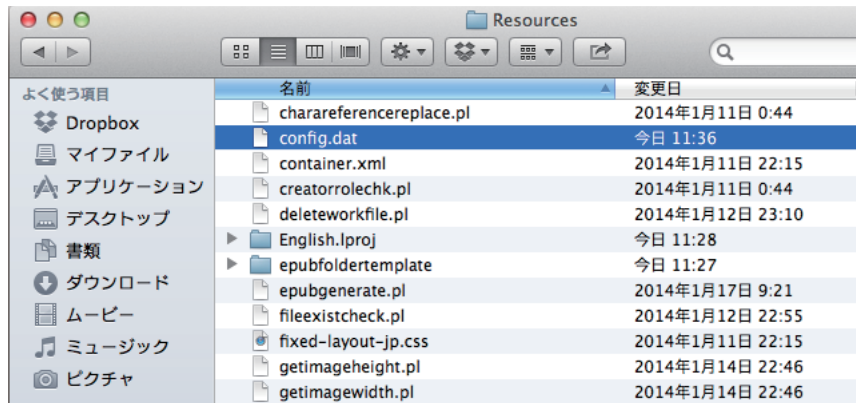
4 「OMUSUBI EPUBMAKER」のパッケージを展開

「OMUSUBI EPUBMAKER」のアイコン上で右クリック (Control + クリック) し、パッケージの中身を表示させる。



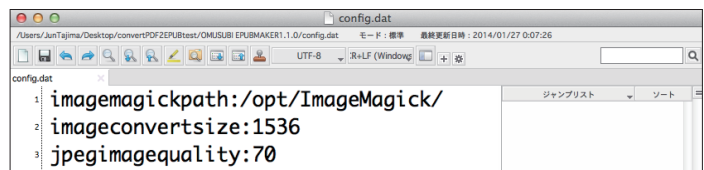
5 「config.dat」をテキストエディタで開く

「Contents」→「Resources」と辿るとある「config.dat」をテキストエディタで開く。



6 「config.dat」にパスを記入

「config.dat」の1行目、「imagemagickpath:」の後に3でメモしたパスを記入する。最後のスラッシュを忘れないように。



7 「OMUSUBI EPUBMAKER」を起動し、設定メニューに設定したパスが入っていれば OK

設定画面にパスが表示されていれば OK。

※直前に出力エラーを起こしていた場合に、指定したフォルダの画像がダブって登録された状態で EPUB が出力されるケースがあります。これは、エラー時の作業用フォルダが残っているのが原因ですので、同じ設定で再度していただければ正常に出力されます。

